

産業応用フォーラム「上下水道施設における環境負荷低減技術の現状と展望」

概要：上下水道事業は高環境負荷型の産業としての側面を持っており、「水道ビジョン」、「下水道ビジョン 2100」においても環境負荷低減が重点施策のひとつとなっています。このような背景から、公共施設技術委員会では「上下水道施設における環境負荷低減技術調査専門委員会」を2009年12月～2011年11月の間設置し、電気、監視制御、システム関連の技術が、上下水道事業の環境負荷低減にどのように貢献しているかの現状と課題を調査し、今後を展望しました。調査範囲は上下水道事業体、要素技術のプロバイダー、さらには関連社会インフラ分野を対象としました。上下水道施設は水循環系の一翼を担うことから、本調査では「環境負荷」の範囲をローカーボンのみにとどめるのではなく、「水環境」への負荷もその範囲に含めた検討を試みました。今回、本分野に関心のある皆様を広く対象として調査内容を紹介します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：平成24年10月31日（水）13:00～16:30

会場：東京トラック事業健保会館（東京都千代田区四番町5-7; TEL: 03-3264-2361）6階大会議室

JR 総武線（中央線各駅停車）市ヶ谷駅下車、徒歩5分 (<http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/11-aboutus/map01.html>)

東京メトロ 有楽町線・南北線、都営地下鉄新宿線 市ヶ谷駅下車、徒歩3分、有楽町線 麴町駅下車、徒歩5分

プログラム：

- | | | |
|----------------|----------------------|---------------------------------|
| 1. 13:00-13:10 | オリエンテーション | 公共施設技術委員会 |
| 2. 13:10-13:20 | 活動概要 | 田所 秀之（日立製作所） |
| 3. 13:20-13:40 | 環境負荷低減技術の動向 | 新 誠一（電気通信大学） |
| 4. 13:40-14:10 | 上水道分野における環境負荷低減への取組み | 中島 満浩（明電舎）
山田 顕寛（日立製作所） |
| 5. 14:10-14:40 | 下水道分野における環境負荷低減への取組み | 若松 剛（三菱電機）
広武 賢一（横浜市環境創造局） |
| 6. 14:40-15:10 | 要素設備、関連社会インフラの現状と動向 | 松原 純（日水コン）
三木 勇（東芝） |
| 休憩 | | |
| 7. 15:20-15:50 | 注目すべき新技術 | 岩崎 恭士（東京都水道局）
杉木 康成（東京都下水道局） |
| 8. 15:50-16:20 | 今後の展望と提言 | 高橋 浩（メタウォーター）
足立 進吾（日立製作所） |
| 9. 16:20-16:30 | 講評 | 公共施設技術委員会 |

テキスト：電気学会技術報告「上下水道施設における環境負荷低減技術の現状と展望」をテキストとして使用します。参加費はテキスト代を含みます。

参加費： 会員（正員） ¥6,000-（非課税） 非会員（一般） ¥8,000-（税込）

会員（准・学生員） ¥3,000-（非課税） 非会員（学生） ¥4,000-（税込）

申込方法：下記いずれかの方法より、お申し込みください。

○ホームページからのお申込み：<http://www.iee.or.jp/forum.html>

○電子メール、またはFAXでのお申込み：「産業応用フォーラム「上下水道施設における環境負荷低減技術の現状と今後の展望」参加申し込み」と題記し、会員／非会員の別、氏名、所属、連絡先（住所、電話、ファックス、電子メール）をご記入の上、10月19日(金)までに下記へお申し込みください（定員に満たない場合は当日受付も可）。

（株）日立製作所インフラシステム社 情報制御システム事業部 田所秀之

Fax 0294-53-7780, e-mail: hideyuki.tadokoro.dw@hitachi.com（※（）⇒@）

参加費支払い方法：参加費は、当日に現金でお支払い願います。領収書は、原則としてフォーラム当日の日付で会場渡しとなりますが、その他のご指示がある場合は申込時にご連絡ください。

主催：電気学会産業応用部門 公共施設技術委員会（横谷守委員長）